

No86 イグ・ノーベル賞に「股のぞき」研究 立命館大の教授ら



[2016年09月23日 NEWS WEBより]

<http://www.asiaq.net>

レッスンの前に、必ずニュースを聞いてください。

上級者向け・・・リンクが削除されている場合は、2ページ目を参照ください。

[http://www3.nhk.or.jp/news/html/20160923/k10010703991000.html?utm_int=news-culture conte](http://www3.nhk.or.jp/news/html/20160923/k10010703991000.html?utm_int=news-culture_cont)

レッスンを始める前に

- ・ニュースを聞き、内容をしっかりと読んでください。
- ・分からない単語は、辞書で調べてください。
- ・一人で音読できるように、練習をしてください。
- ・ニュースの感想を考えてください。

レッスンの進め方

1. 先に講師が読みますので、後に続いて読んでください。
2. 分からないところを質問してください。
3. 内容に対し講師が質問をしますので、答えてください。
4. このニュースが伝えたいことは何か、簡単に説明してください。
5. ニュースを見て思ったこと、感じたことを話しあいましょう。

レッスンの注意点

いっぱい話しましょう。間違えても構いません。

わからないところ、疑問におもったところはどんどん質問しましょう。

間違えたところはメモを取り、レッスンの後に復習をしましょう。

No86 イグ・ノーベル賞に「股のぞき」研究 立命館大の教授ら



[2016年09月23日 NEWS WEBより]

<http://www.asiaq.net>

～上級者向け ニュース記事全文 1/2～

イグ・ノーベル賞に「股のぞき」研究 立命館大の教授ら

ノーベル賞のパロディーとしてユニークな研究に贈られる「イグ・ノーベル賞」の授賞式がアメリカのハーバード大学で行われ、頭を逆さにして両足の間から見る「股のぞき」によって物の見え方が変化することを実験で示した立命館大学などの研究者が「知覚賞」に選ばれました。

「イグ・ノーベル賞」は、1991年にノーベル賞のパロディーとしてアメリカの科学雑誌が始めた賞で22日、アメリカのハーバード大学で授賞式が行われました。

このうち「知覚賞」は、頭を逆さにして両足の間から見る「股のぞき」によって、物の見え方が変わることについて調べた立命館大学の東山篤規教授と大阪大学の足立浩平教授が受賞しました。

東山教授らは、「股のぞき」をすると物の大きさは実際よりも小さく、距離は近くに見え、奥行きがなくなったように感じることを実験で確認しました。

そのうえで、180度逆さに見えるめがねをかけて実験したところ、物の大きさや距離の見え方は変わらなかったことから、見え方の変化は、目から入る情報よりも、体を逆さにする感覚の変化によるところが大きいこともわかりました。

日本人の受賞は10年連続で、東山教授は授賞式で「股のぞき」を披露したうえで、「小さく、縮んで見える」と述べ喝采を受けていました。

No86 イグ・ノーベル賞に「股のぞき」研究 立命館大の教授ら



[2016年09月23日 NEWS WEBより]

<http://www.asiaq.net>

～上級者向け ニュース記事全文 2/2～

東山教授は「これまでほめられることがなかったので受賞は驚きました。研究はパズルを解いているようなもので、まだわからない体の感覚についてもっと調べていきたい」と話しています。

イグ・ノーベル賞を主催しているマーク・エイブラハムズさんは、「股のぞきの研究は、全く誰も考えてみたこともないような研究で、笑いを誘うとともに、考えさせられ、つい友だちに話したくなるという、イグ・ノーベル賞にぴったりの研究だった」と評価しています。

また、日本からの受賞が10年間続いていることについて「日本はイギリスと並んで、ほかの国だと排除されてしまうような、本当に突拍子もない研究が次々と出てくる国だと思う。ほかの人と全く異なる発想の研究を尊重する風土があるのではないか。これからも突飛な研究をどんどん生み出して欲しい」と話しています。